

令和2年12月12日

芦屋市企画部市民参画課
課長 川口 弥良 様

(あしや市民活動センター指定管理者)
特定非営利活動法人あしや NPO センター
事務局長 橋野 浩美

第6回 SDGs を体験しよう！事業名報告書

- 1 日 時：令和2年12月12日（土）13：30～16：30
 - 2 会 場：リードあしや 会議室 CD
 - 3 担 当：橋野
 - 4 参加者：10人（ファシリテーター3人含む）
 - 5 講 師：中嶋 雅美（SDGs 公認ファシリテーター）
 - 6 事業詳細
 - (1) 目 的：SDGs を学ぶことによって市民活動にどんな変化や可能性をもたらすのか、活動を継続的に、より高めるために何が必要かなどの気づきの場とする。
 - (2) 内 容：地方創生 de SDGs カードゲーム体験
SDGs の考え方を地位の活性化に活かし、地方創生を実現する方法について参加者全員で対話し、考えるためのゲーム
市民（5人）と行政（2人）に役割分担をする。
 - 7 アンケート結果：ゲーム参加者7人中 回答6人
 - ・年代：10代：1人 30代：2人 40代：1人 50代：2人
 - ・住い：芦屋市：5人 京都市：1人
 - ・イベントの満足度：満足6人
 - ・開催を知ったのは：リードあしや4人 広報あしや1人 他施設1人
 - ・受講動機：取り組みを知りたかった5人 ファシリテーターに興味あり1人
- 【満足の理由】**
- ・SDGs について理解でき、どのように社会に関わってくるのかも知れたから。
 - ・人口減や社会課題の解消の解決策が見いだせずにはいたが、ひとつの取り組みが1つの効果ではなく、連鎖を引き起こすものという考え方は腑に落ちた。
 - ・SDGs ゲームにもいろいろあるが、元は一緒だというのが分かった。やってみて気づくことは多い「やらないと分からない」
 - ・出来ることからはじめれば良いと思ってゲームを進めたけれど、目標が未達の方に声掛けしなかった自分に気づくことができた。
 - ・前回の SDGs2030 と違って、身近な話題で分かりやすかったです。対話をする事、相手を思い行動することの大切さを考えることができました。

【感想・その他】

- ・受講して本当によかったです。また機会があれば受けてみたいです。
- ・市外で働くサラリーマンの人は住んでいる街にどのような貢献ができるか知りたい。
- ・地方創生は項目が多くて子供には難しい。2030 に対して分かりやすい。
- ・声を出すこと、人と自分の資源やゴールを共有すること、視野を広く持つこと…、様々な気づきを得ることができました。ありがとうございます。芦屋大好き！何か出来ることをしたいと思います。
- ・自分が変わるから世界が変わる、少しずつでいいので社会を変えていきたいと感じました。

8 振り返り

- ・サブファシリテーターが入ってのグループでの振り返り、メインファシリテーターの全員での振り返りでは、様々な気づきがあったようで、これから何かをしなければと思った方が多かったようだ。「何か」を一緒に考える場の必要性を感じた。

以上

